

キーワード： 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

学力向上に向けた取組

函館市立戸倉中学校

1 課題

基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着
言語に関する能力の育成

2 課題解決の具体策

数学において、T Tによる習熟の程度に応じた指導
コンピュータによる個別学習プログラムの活用
放課後や長期休業中における補充的な学習の実施
家庭との連携による家庭学習の習慣化
ペア学習やグループ学習，発表場面の設定

3 取組の概要

全学年の数学の時間に加配教員によるT Tを行い，習熟の程度に応じた課題を与え，個別の指導を行っている。

国語，数学，英語のコンピュータによる個別学習プログラムを購入し，教科の時間や放課後等の補充的な学習の時間を活用して，生徒一人一人が自分の苦手とする内容の問題にチャレンジしている。できなかった問題については，教師による個別の指導に加え，コンピュータが提示する解法のポイントを参考に学習を進めている。



放課後や長期休業中を活用し，各教科の補充的な学習の時間を設定し，生徒の主体性を生かしながら学習機会を設けている。

各教科において、家庭で学習する内容を提示することによって、家庭学習の習慣を定着するように指導をするとともに、学年・学級懇談会の際や学級通信を活用して、保護者会に対しても、子どもたちに家庭学習に取り組ませるよう協力を呼びかけている。

ペア学習やグループ学習を授業に取り入れ、互いに相談させたり、教え合ったりさせるようにしている。また、全体の前で発表する機会も設けている。



4 成果と課題

T Tにより、授業中にわからないところをすぐに解決できるようになり、学習意欲を持続することができるようになってきている。

コンピュータによる学習により、生徒は自らのわからないところの確認や学習した成果の確認にコンピュータ室での学習に積極的に取り組んでいる。

放課後学習や長期休業中の補充的な学習の時間を活用し、生徒たちは自分の苦手とする内容に意欲的に取り組むようになってきている。

家庭との協力により、家庭学習の習慣化少しずつ身に付いてきている。

ペアやグループでの話し合い、発表の機会を設けることによって、生徒は自分の考えをまとめたり、わかりやすく説明しようとするようになってきている。

全ての時間でT Tを実施することができないため、T T教員がつかないときには、十分に手当できないことが多い。

コンピュータを活用した学習に人気が集まり、台数が不足する場合がある。